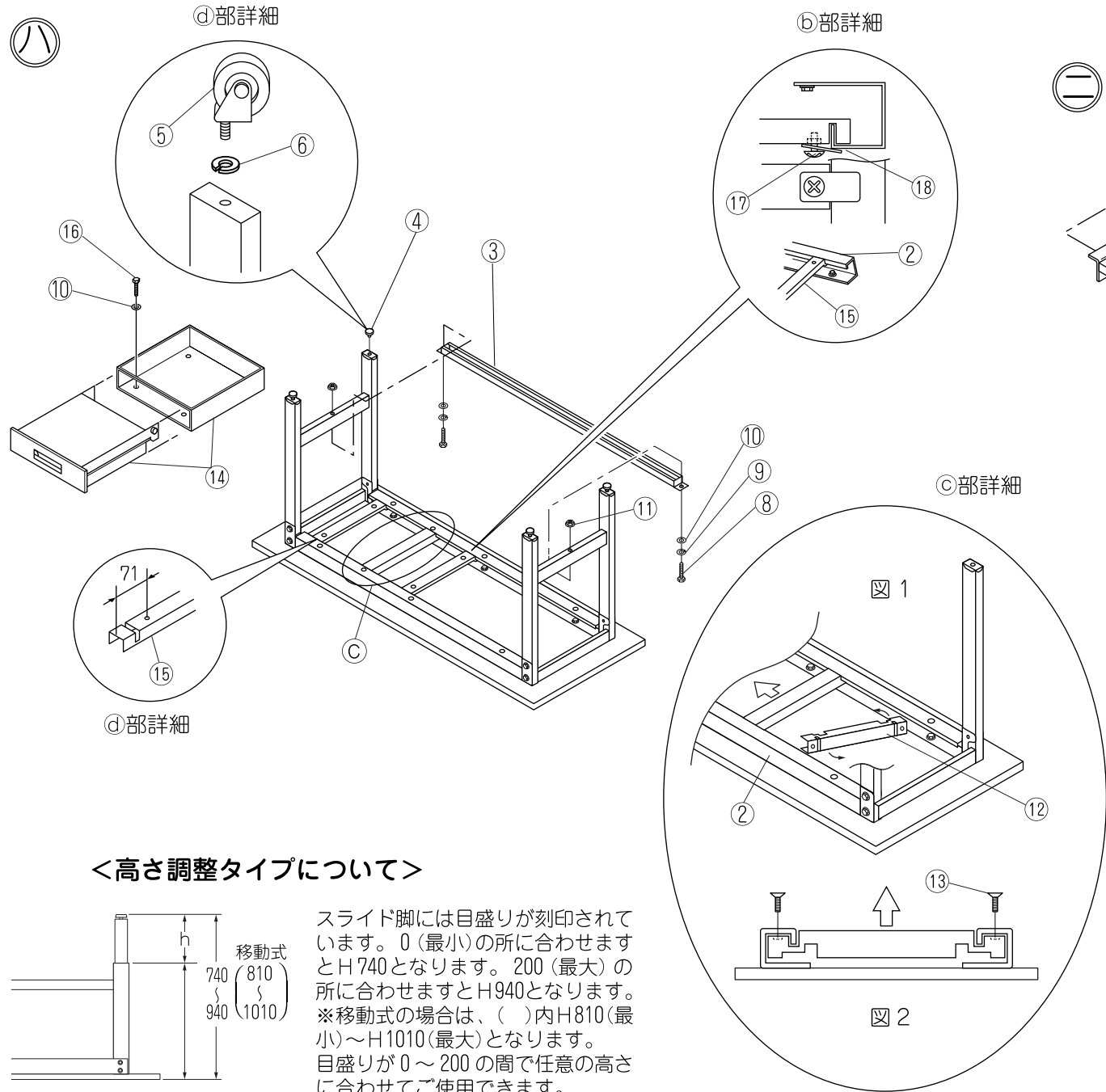
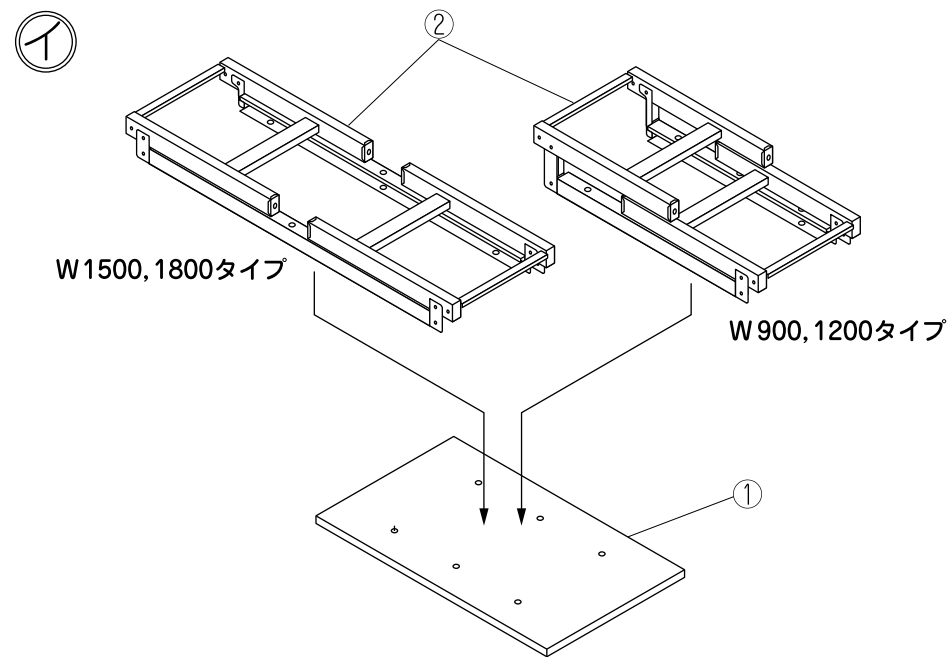
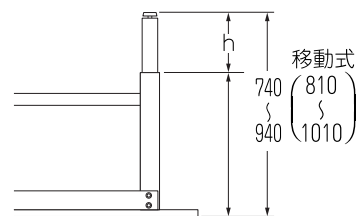
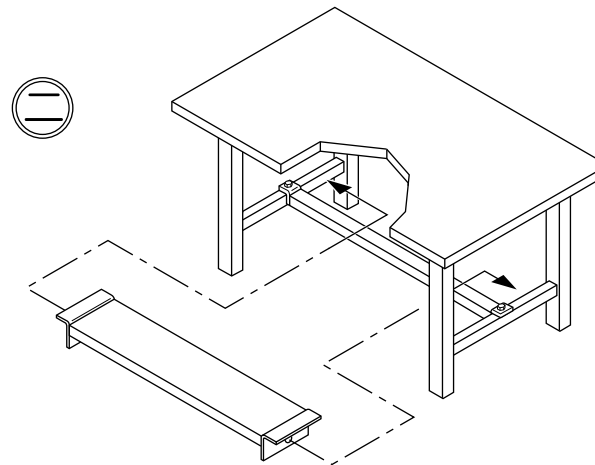
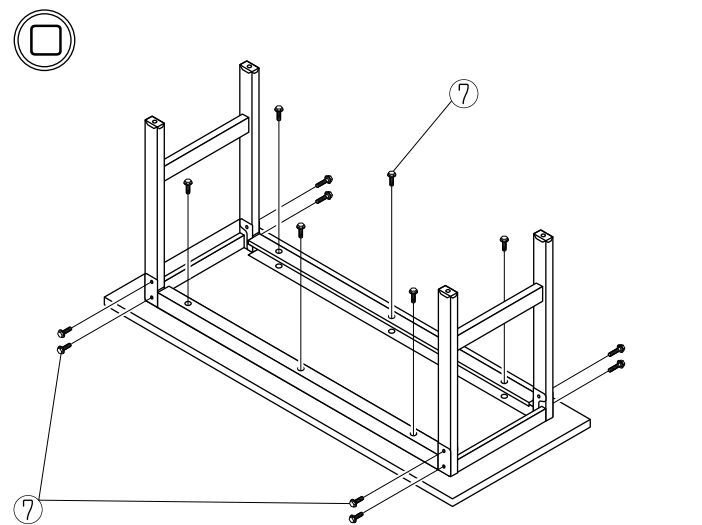




<高さ調整タイプについて>



スライド脚には目盛りが刻印されています。0 (最小)の所に合わせますとH740となります。200 (最大)の所に合わせますとH940となります。※移動式の場合は、()内H810(最小)~H1010(最大)となります。目盛りが0~200の間で任意の高さに合わせてご使用できます。



●組立て方法

- ① 裏返した天板①の上に本体セット②を置きます。
- ② 脚フレームを片方のみ起こし、図②のように六角アプセットセムス⑦で仮止めて下さい。そしてもう片方も同じ要領で仮止めて下さい。そして天板①と本体セット②を六角アプセットセムス⑦で6ヶ所、仮止めします。
- ③ カンヌキ③を脚フレームに下から差し込み、六角ボルト⑧、パネ座金⑨、平座金⑩で締め付けて下さい。その後、全部はずれないように本締めして下さい。さらに、脚フレームの先端部にアジャスター④をねじ込んで下さい。キャスター付の場合は、パネ座金⑥を入れてから、キャスター⑤をねじ込んで下さい。(⑥部詳細)
- ④ 全てを取り付けたら本体を起こして下さい。(中板が付く場合は、中板を脚フレームに上から置いて下さい。)

《キャビネットが付く場合》

※任意の場所にキャビネット吊金具⑮をセットして下さい。

- A (奥行D600)のタイプ
キャビネット吊金具⑮を図①のように本体フレームに(⑥部詳細)合わせて取り付けして下さい。
- B (奥行D750)のタイプ
Aの様に取付けた後、キャビネット吊金具⑮の後方(⑥部詳細)にトラス小ネジ⑰、押さえ板⑱で浮き上がり防止を行って下さい。
- C (奥行D900)のタイプ
本体を仮止めの状態で、補強フレーム⑫を天受けビームの間に、図1の様に穴のある面を横に向けて斜めにして入れ、それから天受けビームと垂直になるように回転させます。この時、同時にビス穴がある面が上にくるようにします。この状態にしておいてから、全てのネジを本締めして下さい。

本締めが終わったら、補強フレームを天受けビームの中心付近の穴の位置まで移動させて、図2のように補強フレームを持ち上げながら、皿小ネジ⑬でネジ止めして下さい。
そして図②の要領で、キャビネット吊金具⑮を取り付けて下さい。

●部 品 明 細

番 号	品 名	数 量
1	天 板	1
2	本 体	1
3	カ ン ヌ キ	1
4	アジャスター	4
5	キャスター	4
6	パネ座金 (M12用)	4
7	六角アプセットセムス (M8×18ℓ)	14
8	六角ボルト (M8×65ℓ)	2
9	パネ座金 (M8用)	2
10	平座金 (M8用)	2 (6)
11	フランジナット (M8用)	2
12	補強フレーム (1800×900天板使用分のみ)	1
13	皿小ネジ (M8×15ℓ) (1800×900天板使用分のみ)	2
14	キャビネット	(1)
15	キャビネット取付金具	(2)
16	六角ボルト (M8×12ℓ)	(4)
17	トラス小ネジ (M8×12ℓ)	(2)
18	押 っ 板	(2)

()はキャビネット及び補強フレームを取り付ける場合。

《キャビネットの取付方法》

上記のキャビネット吊金具⑮をセットした後、キャビネット⑭の引出しを抜き裏返して、キャビネット吊金具⑮の上に置き六角ボルト⑮、平座金⑩で仮止めします。その後、取り付けるキャビネットがAのタイプである場合、本体(キャビネット)を図3のaの位置に本体の前面がくるように合わせます。またBのタイプのキャビネットの場合は、bの位置に本体の前面がくるように合わせます。そして、それぞれの位置に合わせたのち、はずれないように本締めして下さい。

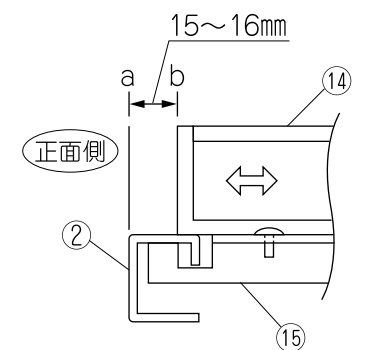


図 3

Aタイプ (NKL-11, 22, 32, 33)
Bタイプ (NKL-S10, S20, S30, NKL-10, 20, 30)